

来賓祝辞

上越市副市長

村山秀幸

今ほどご紹介いただきました村山でございます。本年四月から上越市の副市長としてお世話になっております。木浦市長がお招きいただきましたところでございますが、他の用務で出席が叶いません。代わりまして私からご挨拶を申し上げます。また、木浦市長からも、皆様にくれぐれもよろしくという事でございましたのでお伝え申し上げます。

ふるさと上越ネットワークの平成十九年度総会が、このように多くの皆様がお集まりになられて盛会に開催されておりますことに、心よりお喜びを申し上げます。おめでとうございます。また、皆様に、日ごろから私とも上越市の取組みに対してご支援、サポートをいただいております。ことに、心から感謝申し上げます。和久井会長、藤田理事におかれましては食料・農業・農村政策審議会の委員として、松川副会長には行革推進専門員、また井手理事には直江津港

振興推進員として力をお貸しいただいております。ほか、皆様からさまざまな面でお力添えをいただいているところです。改めて感謝を申し上げます。

先日、内閣府から一月～三月期の四半期別GDPが発表になりました。前年度と比べれば〇・六%の増、年率に直しますと二・四%伸びたという事です。私ども地元経済の状況を考えますとなかなか実感がわかない。そんな状況もありまして、地域はやっぱりまとまりながら、地域の力や人の力を基にしながら頑張らなくてはいけない、格差を埋めながら地域をいたわるための方策を考えなくてはいけないという事で、市長を中心に色々な面で取り組んでいるところでございます。ぜひその面についてもお力をいただければと思っております。

最近の上越地域の状況を少しお話させていただきたいと思っております。

先ほど会長からお話がありましたように、この春、会員の皆様から上越においでいただいた高田の桜を楽しんでいただきました。今年の高田城百万人観覧会には、一八万人を超える皆様においでいただき、史上最高の人出で賑わいました。

また、今年は親鸞聖人が直江津の居多ヶ浜に配流されて八百年を迎えるということで、京都を含めて信者の方から上越に足を運んでいただいております。随分賑わいも出てきているところです。NHKの大河ドラマの「風林火山」も、そろそろ上杉謙信が登場する時期になりました。期待して見ていただきたいと思います。

平成二十一年には、二度目の国体が高田市内で開催されます。その前年、平成二十年にはブレ国体として上越には二〇〇〇人から三〇〇〇人位の選手がおいでになる。この中で体操の全日本選手権大会をはじめ、ハンドボール、ソフトテニス、ソフトボール、いずれも全日本レベルの大会が開かれるということで、賑わいづくりの自信になると思っております。そしてその次は本国体という事でありますし、同じ二十一年には新潟出身の作家 火坂雅志さんの著作『天地人』、これは上杉謙信公の教えを受けた直江兼続公を描いた作



品ですが、NHK大河ドラマで放送されること
が決まりました。これは上越市のほかにも、与
板、六日町など新潟県内で舞台となる地域があ
りますので、是非楽しみにしていただければと
思います。

先ほど、総会に先立ち監督がお見えになつて
PRしておりましたが、今秋、映画「ふみ子の
海」が全国で放映されます。さらに、今春に上越
で撮影され、先日ランクアップした映画「絆」
にも上越の風景が使われておりまして、今秋に
全国で放映されることになります。是非、足を運
んでいただければと思います。

このように、上越市にも風が少し吹いてきた
かなと思いますが、本当にこれを地域の力にな
るような強い風にするためには本気になつて取
り組むことが大事で、今、市民や職員が一緒に
なつて頑張っているところでございます。地域
を契機づけるには人の力が大事で、地元に住む
方だけではなくて、遠くにいてどこかでふるさ
とを思いながら応援してくださる皆さんの力が
特に大事な時であります。是非、なつかしいふる
さとを思いながら、私どもにエールを送ってい
ただき、背中を押し、手を引っ張っていただけれ
ば有り難いと思っております。

本日は、総会のご盛会まことに改めてとうご
ざいます。そして今日お集まりの皆さんのます
ますのご活躍、ご健勝、そしてふるさと上越ネッ
トワークが、ますます輪を拡げながら上越地域

を思う大きな組織として発展されることを祈念
いたしまして、挨拶に代えさせていただきます。
おめでとうございました。

